

令和 5 年 7 月 19 日
道南バス株式会社

苫小牧市内エリアの一般乗合バス(路線バス)の上限運賃変更認可申請について

道南バス株式会社(本社:北海道室蘭市、社長:長谷川 義郎)は、令和 5 年 7 月 19 日国土交通省北海道運輸局へ苫小牧市内の一般乗合旅客自動車運送事業の上限運賃変更認可申請を行いました。申請理由および申請概要等は次のとおりです。日頃より、ご利用いただいておりますお客様におかれましては、何卒事情をご賢察のうえ、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

1. 申請理由

弊社の苫小牧市内エリアの運賃は、苫小牧市交通部が平成 8 年 9 月 1 日改定以降は消費税率改定を除き約 27 年間改定を行わず輸送サービスを提供してまいりました。

しかしながら、従来からの利用者の減少に加えマイカー・自転車などの競合でバス利用者の減少に歯止めがかからない中、近年では新型コロナウイルス感染症拡大による新しい生活様式の定着によりテレワークや WEB 会議などが普及し移動需要自体が減少したため収入面において極めて厳しい事業環境となっております。

また、支出面におきましてもウクライナ情勢の影響による燃料価格や部品の高騰が続いているほか、老朽化したバス車両およびワンマン機器の更新に伴う投資、更には深刻な乗務員不足による要員確保や処遇改善に伴う人件費の増加など収入の減少と併せて事業経営を圧迫しており今後も人件費と車両およびワンマン機器などの設備への投資の増加が見込まれます。

このような厳しい事業環境下においても公共交通事業者の使命としてお客様に安心してご利用いただき、安定した輸送サービスを提供するためには運賃改定による収支の改善が必要であると判断し、上限運賃の変更を申請いたしました。

2. 申請概要

(1)申請日	令和 5 年 7 月 19 日
(2)運賃改定実施予定日	令和 5 年 12 月 1 日
(3)申請対象路線	弊社苫小牧市内エリア全路線
(4)上限運賃の平均改定率	28.90%

(5) 現行・申請運賃比較

・特殊区間制

区数	現行	今回申請
1区	210円	230円
2区	230円	280円
3区	240円	320円
4区	250円	360円

・対キロ区間制

	現行	今回申請
初乗運賃	150円	200円
基準賃率	39円30銭	50円50銭

※基準賃率とは、キロ当たり賃率のことで運賃を計算する際の基準となる値です。

(6) 主要区間の運賃対比表

区間	現行運賃	実施予定運賃	申請上限運賃
苫小牧営業所～苫小牧駅前	250円	320円	470円
沼ノ端駅北口～苫小牧営業所	260円	330円	480円
苫小牧駅前～錦西営業所	380円	470円	800円
錦岡駅前～工業高専前	190円	250円	290円
苫小牧営業所～北洋大学	480円	570円	940円
苫小牧駅前～勇払正門	400円	530円	1,090円

※申請上限運賃とは、一般乗合バス事業の経営に必要な原価に応じて算出されるバス事業者が収受してもよいとされる運賃の上限額です。

※実施運賃とは、認可が得られた上限運賃の範囲内で実施する実際にお客様から収受する運賃額です。

(7) 定期券の取り扱い

特殊定期券(通勤)・通学定期券についても割引率を変更いたします。また6ヶ月定期券を廃止し、3ヶ月定期券の割引率を引き上げます。

	現行割引率	申請割引率
特殊定期券	1ヶ月 33.45%引き 3ヶ月 1ヶ月の3倍の5%引き 6か月 1ヶ月の6倍の10%引き	1ヶ月 25%引き 3ヶ月 1ヶ月の3倍の10%引き 6か月 廃止
通学定期券	1ヶ月 45%引き 3ヶ月 1ヶ月の3倍の5%引き 6か月 1ヶ月の6倍の10%引き	1ヶ月 40%引き 3ヶ月 1ヶ月の3倍の10%引き 6か月 廃止

※1ヶ月定期券は、(片道運賃額)×2×30×(割引率)で算出されます。

3. 輸送人員及び収支状況

		収支状況	輸送人員
令和3年度(実績)		△328百万円	236万人
令和4年度(見込)		△445百万円	216万人
令和5年度(見込)	改定前	△441百万円	216万人
	改定後	△314百万円	212万人

※令和5年度平年度推計における改定後の輸送人員および収支状況は申請(上限)運賃での推計数値です。

4. これまでの経営改善と今後の取り組み

弊社ではこれまで運行ダイヤの効率化、車両代替え期間延長による投資・償却費の削減、整備業務の内製化などを通じた外注修繕費用の削減などに努めてまいりました。

一方で苫小牧市内通学フリー定期券を対象としたスマホ定期券「バスもり」の導入や近年利用が急拡大しているQRコード決済の拡充を図りサービスの向上と収支バランスの見直しに努めてまいりました。

今後はコロナ禍で疲弊した財務の再建、乗務員不足対策、物価高対応、将来を見据えたダイヤの再構築を同時進行で行い経営改善を図り事業を継続してまいります。

5. 安全対策への取り組み

弊社では、「安全・正確・快適な旅客輸送への奉仕」という経営理念のもと、「輸送の安全」を最優先として取り組みを続けております。

具体的には、年4回の「事故防止会議」を開催し代表取締役社長から社員へ輸送の安全についての考えを話す機会を設けている他、役員と共に各営業所をまわって安全について各乗務員に声掛けを行っております。

また、会社としては「法定速度の厳守」「交差点右左折の一時停止」「完全着席後発進」を重要項目として取り組んでおります。本社においては安全対策の専門的な部署である「輸送安全部」を構築し安全対策をしている中で、輸送安全部で交差点の定点観測や添乗指導を実施し、結果次第では営業所、本社での指導などを行い、事故防止に取り組んでおります。また、スピードダウンを第一に法定速度の厳守、デジタルタコメーターを使用して管理を行っております。

高齢者の乗務員においても、長い距離を走らせない、身体に負担をかけないなど絶えず身体的な面からも輸送の安全性の向上に努めてまいります。

6. サービス向上に関する今後の取り組み

弊社では現在も多くの方に利用いただいているQRコード決済のブランド追加による利便性向上やスマホ定期券の利用拡大へ向けたサービス拡充を図ってまいります。

令和4年度に導入しましたバスロケーションシステム「バスキタ！道南バス」を利用した路線や時刻の案内ならびにリアルタイム運行情報の提供やホームページやSNSを活用した情報発信に努めてまいります。また、各町内会や地域のイベントに参加し「バスの乗り方教室」を積極的に開催し身近にバスに乗車する機会を通じて利用促進を図ってまいります。